

ストップいじめアクションプラン

～いじめの未然防止、早期発見・早期対応～ 竜王町立竜王小学校

めざす学校 めざす子ども

いじめのない楽しい学校

子どものアクション

- ・委員会を主とする児童会活動で全校に人権意識を高め、いじめや差別を許さない態度を啓発していく。(あいさつ運動・縦割り活動・ちくちく言葉をなくそう運動)
- ・学級目標を軸に様々な友だちを大切に仲間づくりに取り組む。
- ・特別活動や学校行事の活動を通して自治力・自己決定力を培う。

家庭や地域と連携したアクション

- ・PTAや各種懇談会、研修会等を通じて、いじめ根絶や人権尊重に関わる啓発に努め、学校、家庭、地域が一体となって「いじめのない楽しい学校」づくりに努める。
- ・音楽会や運動会、学習公開等を通して開かれた学校づくりに努め、地域、保護者に子どもの状況を知る機会をもうける。
- ・学校運営協議会や学校応援団、スクールガード民生児童委員との連携を図り、地域で子どもたちの育てる機運をつくり出す。

教職員のアクション

インターネットやスマートフォンの利用に関する授業の展開

発達支持と課題予防に努める

- ☆「いじめを見抜き、いじめを絶対に許さない学級・学校づくり」に全職員で取り組む。
- ・子どもに関する情報の共有化のために、何でも話し合える、支え合えるような学年間や職員室の人間関係づくりを築く。また、業務改善で多忙感に追われず子どもに向き合えるような、心に余裕のできる職場づくりを目指す。
- ・教務部、各支援員、養護教諭、地域や教育委員会等の連携機関と担任との報告・相談・連絡を密にする。
- ・いじめを見抜く力やいじめを許さないための人権や仲間づくり等の研修会を適宜開催する。
- ・子どもの様子、学級実態把握のためのアンケートをもとに個別で話す時間を継続して実施する。
- ☆子どもとの信頼関係を築き、問題の早期発見、早期対応につながる「予見」のための活動を推進する。
- ・個々の子どもの様子や関係性を把握するため、日々の授業や休み時間・給食時間、保護者との連携を大切にする。
- ・子どもが楽しいと思う授業づくりや所属感のある集団づくりに努める。
- ・様々な行事や活動を通して、個々の児童の自尊感情を高める声かけや指導、支援に努める。

現状(課題)

- ・やさしい性格の子どもが多いが、まわりの目を気にしたり、流されたりしやすく、悪いと思ってもきっぱりと断ることができないことがある。
- ・まじめで素直であるが、自分たちで考え、行動しようとする力がやや弱い。
- ・スクリーンタイムの長時間化、インターネットを介しての他者との繋がりの増加に伴い、ネット内トラブルも聞かれるようになった。